

# ぎかいのトビラ



【特集】市民インタビュー  
私たちが、子育て応援団  
子育てボランティア「アップル」

P2

## 12月定例会について

- 審議した主な議案 P 4
- 意見書を提出 P 6
- 市政について問う《一般質問》 P 8
- その他の主な活動 P 16
- 常任委員会 視察報告 P 17
  - 《総務委員会》 P 18
  - 《経済委員会》 P 20
  - 《厚生委員会》 P 22

No.101  
平成26年  
2月15日発行  
(通巻210号)

## しぎかいカレンダー

### ●3月定例会の予定●

日	月	火	水	木	金	土
2 / 16	17	18	19 陳締切	20	21 議運	22
23	24	25	26	27	28	3 / 1
2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6 本会議	7	8
9	10 常任委	11 常任委	12	13	14 予特	15
16	17 予特	18 予特	19	20	21	22
23	24	25	26 本会議	27	28	29
30	31					

- 陳締切…請願・陳情の3月定例会審議予定分の締切
- 議運…議会運営委員会
- 常任委…常任委員会(総務、経済、厚生)
- 予特…平成26年度予算審査特別委員会

\*会議の予定は変更になる場合があります。  
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

## 議会を見よう!知ろう!

### ～次は3月定例会～

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

- 1 議場で傍聴 ーライブで!ー  
当日、直接議場へおいでください。
- 2 ケーブルテレビで生中継  
TCN多摩ケーブルネットワークで、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継  
開催日の3日後から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む  
議会終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市ウェブサイトから見るすることができます。

## 編集後記

新しく生まれ変わった「議会だより」。いかがでしょうか?  
サブタイトルの「ぎかいのトビラ」には「議会への扉はいつでも、皆様に開かれています。」というメッセージを込めました。「アト」は、「扉」はもちろん、「ト」は「トビ」。「ジョン」も意味しています。  
「議員は時代のトレンドをしっかり注視する、察知する」「羽村市のビジョンをしっかりと見据える、考える」「羽村市へのラブ(愛)」ということですね。  
これまでの「議会だより」は議員からの発信が中心で、市民の皆様からのお声が、なかなか集まらない、反映されにくいものでしたが、これからは皆様からお声を積極的に寄せいただき、誌面に反映させていただきます。と編集委員全員が考えています。  
「おかしのトビラ」はいつでも開かれています。お気軽に「ぎかい」におこしください。(大塚記)

### 議会だより編集委員

- 石居 尚郎 橋本 弘山
- 印南 修太 中嶋 勝
- 大塚あかね 山崎 陽一
- 川崎 明夫

発行/羽村市議会 編集/議会だより編集委員会  
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042(555)0889  
Tel 042(555)1111(内線412~414、416)  
羽村市ウェブサイト <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



「ぎかいのトビラ」は再生紙を使用しています。

羽村市議会 検索



# 私たち、子育て応援団

## ● 子育てボランティア「アップル」

平成25年12月14日、ゆとりぎ創作室で、子育てボランティア「アップル」の皆さんにお話をうかがいました。メンバーのうち4人の方にあいでいただきました。

**「アップル」はどんな活動をしているグループなんですか？**

**アップル（以下🍏）**市の子ども家庭支援センターのボランティア団体として活動を始めて、6年になります。いま登録しているメンバーは17人。活動は、児童館で行われる、おしゃべり場・あそびのポケットなどの市の事業の時に保育サポートとして、子どもたちと遊んだり、お母さんの悩みを聞いたりしています。

### 活動を始めたきっかけは？

🍏 子どもが大好きなんです。それに、今のお母さんの子育て事情を見ると放っておけない。お母さんには余裕をもって、笑顔で子育てをして欲しいので、ちよつとでもそのお手伝いをしたいと思って、このお節介りババのビタミン愛を伝えたい。(笑)

🍏 私は、近くに東児童館ができた時に、地域の人や子どもを知りたい、子育てのお手伝いをしたいと思ったのがきっかけです。

🍏 都内で定年まで児童館の仕事をしていたので、次は地元で無理のない範囲で、でもやっぱり子どもに関係あるボランティアをした

いと思って参加しました。

🍏 民生委員の活動の中で、お母さん同士が交流する場が少ないことが気になっていたので、児童館を紹介していました。その後、児童館の相談員もやらせてもらいましたが、その経験を生かして、次は、「アップル」に参加することにしました。

### 活動するときには、どんなことを心掛けていますか？

🍏 子どもにケガのないように、安全に安心して遊んでもらえるよう気を配っています。

🍏 それと、自分の健康管理もですね。風邪を引かないようにとか。

### 最近のお母さんたちの様子をどう感じていますか？

🍏 市外から越してきて、子どもを遊ばせる場所も分らないお母さんもいるので、乳児健診の時などに児童館を勧めています。そこ

🍏 いつまでも続けたいので、自分も元気でないとダメですから。

🍏 赤ちゃんって意外と重いので、腰を痛めないように、皆、筋トレにも励んでいるんですよ(笑)。

🍏 下の子を預かることで、上の子がお母さんを独占できる時間を作ってあげたいと思っています。束の間だけど、大事な時間じゃないかな。



↑ 朗らかで温かい雰囲気の皆さん。左から、井上さん、木下さん、北川さん、和智さん

### 子育てボランティア「アップル」

子育て中のママが活動しやすいように、活動中の保育サポートをするボランティア。主に子育てがひと段落した先輩お母さんたちで構成され、メンバーは17人。自分たちの子育て経験を生かし、さりげなくアドバイスもしてくれる。現在、会員募集中。



🍏 で、お母さん同士が友達になれたらいいと思って。  
🍏 周りの子と自分の子を比べて悩んでいるお母さんも結構います。「違って当たり前だから悩まないで」と声をかけることもあります。  
🍏 でも、児童館に来て遊んでいる親子はまだいいんです。そこに来ない人が孤立していかないか、とても気になりますね。  
(一同うなずく)

### これからどのように活動していきたいですか？

🍏 地域みんな子育てをする、そんな地域づくりのきっかけになれたらいいですね。  
🍏 いろんな所へ出て行っていろんなお母さんと雑談をして、少しでも気晴らししてもらえようようにしたいですね。  
🍏 活動が広げられるように、新しい会員をぜひ増やしたい！  
🍏 ボランティアって、お金に代えられない自分の栄養にもなると思うので、もっと皆さんに関心を持ってもらえるといいなと思っています。

### ● インタビューを終えて…

「アップル」の皆さん子どもたちへのあふれる愛やお母さんたちへの思いやり、地域への想いが伝わってきました。議会としても、羽村市の子育て環境を考えるためのいい機会になりました。お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

※「アップル」に関するお問い合わせは 羽村市役所子ども家庭支援センターまで (555-1111) 内線 267 ~ 269

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。

議会として、そんな方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思っています。第1回目は、厚生委員会がお話をうかがいました。

【表紙の写真】 西児童館事業「おしゃべり場」で小さな子の面倒を見る「アップル」のメンバー鎌田さん (25年11月15日撮影)